

高齢者虐待に対応する

家族は、居宅高齢者や障害者の最大の擁護者であるとともに、最大の虐待者でもある…。
今、多くの専門職が、煩悶し、苦悩しつつ、この問題に真摯に対決している。

平成25年3月31日（日）13:30-15:30
ひめぎんホール サブホール

入場
無料

市民公開講座

次の災害時に現場はどう動けるか？ 外部はどう支援できるか？

～災害医療をめぐるコーディネータについて考える～

被災地と支援者がつながるためには、繋げる役割が必要であった… 混乱の場において、それを知った。
今回の震災で得た経験と知見を、次の災害に備えなければいけない。

平成25年3月31日（日）13:30-15:30

ひめぎんホール 真珠の間 B

第15回 日本在宅医学会大会  愛媛

会場：ひめぎんホール（愛媛県県民文化会館）
〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5番1号

<http://www.tampopo-clinic.com/zaitaku2013/>

高齢者虐待に対応する

在宅医療は患者の生活や生き方そのものに関わる医療であり、家族との関わりを抜きにしては実施できない。家族は、患者の最大の擁護者であるとともに、最大の虐待者でもある。それゆえ、在宅医は必然的に虐待の問題と対面せざるを得ない。多くの在宅医療従事者が、苦悩しつつ、この問題に真摯に対決しているのが実情である。

わが国では、2006年に「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」が施行され、大きく高齢者の虐待対応が進展した。我が国の高齢虐待への対応がどのように進展したか、高齢者虐待問題の識者達に幅広い知見をお伺いしたい。医療職や福祉職のみならず、市民や公的機関の担当者を含め、多くの方々の参加を期待している。

医療法人社団実幸会いらはら診療所在宅医療部 部長 和田忠志氏
弁護士・大阪アドボカシー事務所 / 日本高齢者虐待防止学会理事長 池田直樹氏
愛媛県中予地方局総務企画部地域政策課 専門員 前神有里氏
松前町地域包括支援センター主任介護支援専門員 畑中真理氏

次の災害時に現場はどう動けるか？外部はどう支援できるか？ ～災害医療をめぐるコーディネータについて考える～

東日本大震災では、多くの尊い犠牲と、つらく悲しい経験を経ながら、次代にむけての重要な知見を得た。それは「コーディネータの重要性」である。混乱する現場の各所に、リーダーは必要であったし、いろいろな形で成立した。外部支援は、その現場に適切に介入するために、そのリーダーとともに現場のマネジメントを行う現地コーディネータを要した。

避難所・在宅あるいは施設・病院などの「被災後の生活の場」に、支援者たちはどのように用意して行動したのだろうか？今回のシンポは、内（現場）と外（外部支援）あるいはつないだ人たちをご紹介します、その経験や知見を通じて、次の災害に備え、横のつながりを強める目的で開催したい。

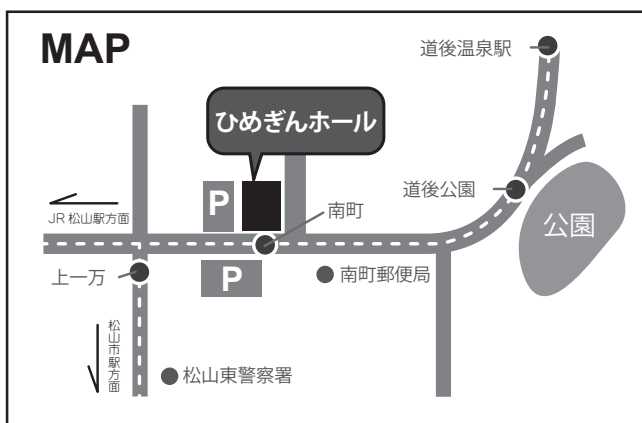
山梨市立牧丘病院 院長 古屋聡氏
つなプロ気仙沼 川崎克寛氏
NPOどさんこ海外保健協会 / シェア 大泉樹氏
キャンナス 菅原健介氏
石巻開成仮診療所 長純一氏
石巻市河北包括支援センター 川添圭子氏

◆命に向き合う時 ～胃ろうと延命～ ＜完熟一期座による演劇＞

3月30日(土) 17:20～18:20
会場：ひめぎんホール メインホール

◆施設での看取りを考える ～看取りの障害になっているものはなにか～

3月31日(日) 13:30-15:30
会場：ひめぎんホール 真珠の間 A



会場：ひめぎんホール

〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5番1号

第15回日本在宅医学会大会事務局

〒791-8056 松山市別府町444-1

医療法人ゆうの森 担当：木原・前島・松重

TEL：089-911-6333

E-mail：zaitaku15@tampopo-clinic.com